

研究課題名	心不全患者における遂行機能障害と疾患管理および心不全増悪再入院リスクの関連
実施責任者	所属・職名：リハビリテーション部・主任
	氏名：恒川 裕気
研究の概要	心不全で入院した患者さんは、退院後にセルフケアや服薬管理を継続することが大切です。当院では、自己管理が困難となる患者さんを見つけるために、認知機能検査や遂行機能（計画・実行・自己監視を担う能力）の検査を必要に応じて実施しています。本研究の目的は、遂行機能が自己管理や再入院の多さとどのように関連しているかを調べることです。
対象となる個人情報	年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、併存疾患、入院中の治療経過、心臓エコー所見、血液生化学所見、処方薬剤、身体機能、フレイル、栄養状態、要介護度、生活状況（独居の有無、介護者の有無）、認知機能検査、遂行機能検査、心不全管理に関するセルフスコア、服薬アドヒアランス、退院後の経過（再入院）
実施の期間	西暦 2025 年 4 月 1 日より 西暦 2028 年 3 月 31 日まで
研究対象	2025 年 4 月～2027 年 3 月に心不全治療のために当院へ入院した患者さん